

平成27年5月25日

原子力学会・標準委員会主催

第2回 深層防護ワークショップの開催について

1. 目的

IAEA 閣僚級会合報告書等の多くの報告書で、福島第一事故が深層防護に対する取組みの不足に起因するものと指摘されており、今後、原子力安全を向上させていく上で、深層防護について原子力関係者が共通の認識を持って議論し、深層防護の概念を深化させていくことが、二度とこのような事故を起こさないために極めて重要なことである。

そこで、原子力学会の標準委員会が H26 年5月に刊行した深層防護に関する技術レポート、平成26年8月の第1回ワークショップ、及びその後の議論を踏まえつつ、纏めのワークショップを開催して、深層防護の考え方、適切な実装について意見交換、情報共有を行い、深層防護に関する共通認識の徹底の促進に資する。

2. 日時 平成27年6月30日(火) 13:30~17:30

3. 場所 東京都 機械振興会館 地下2階ホール (250人収容)

住所: 〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5-8

地図: <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

4. テーマ 深層防護の具体的適用の考え方

5. ワークショップの内容 (詳細は添付1を参照)

原子力学会の標準委員会が H26 年5月に刊行した深層防護に関する技術レポートを踏まえつつ、その後の第1回ワークショップ(公開)及び3回のトピカルミーティング(非公開)を振り返り、その後、原子力業界とは違う視点での深層防護に関する講演、及び深層防護の実装の考え方に関する講演を行う。それらを踏まえつつ、深層防護の具体的適用に当たって、何が問題か、どうすれば解決できるのか、その判断基準は何か、などについて、5人のパネリスト及び会場と広く質疑応答を行い、深層防護の具体的適用の考え方の取り纏めを行う。議論の結果は速やかに報告書に纏める。

6. 主催 原子力学会 標準委員会、 協賛 原子力安全部会、原子力発電部会

7. 参加費 無料

8. 申し込み方法

- (1) 申し込みは、添付2の「参加申込書」に記入いただき、**6月19日(金)までに下記まで、Emailによりご送付**下さい。また、深層防護に関する意見、課題、要望、関心事などがあれば簡潔に添付3の「ご意見・ご要望・ご感想など」に記入していただき、申込書と一緒に送ってください。必要に応じて講師に事前連絡致します。

宛先: 一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会事務局

E-mail: sc@aesj.or.jp

- (2) テキストは、当日会場受付でお渡しします。

TEL: 03-3508-1263

9. その他

- (1) 第2回深層防護ワークショップは、午後13時30分より開始致します。昼13時00分から13時30分までの間に受付をお済ませ下さい。
- (2) 深層防護ワークショップで扱うテーマや運営などについて希望事項がありましたら、併せてその内容を添付3の「ご意見・ご要望・ご感想など」に記入し、ご連絡下さい。必要に応じて講師に事前連絡致します。

以上

第2回 深層防護ワークショップ プログラム

※受付開始：13：00～

- | | |
|---|---------------|
| (1) 開会挨拶 (5分) : 関村先生 (東大) | 13:30 - 13:35 |
| (2) WS 及び TM 全体の振り返り (20分) : 河井(原安進) | 13:35 - 13:55 |
| (3) 講演1 (30分) :
深層防護は不確かさに応えられるのか (仮題)
講師: 横浜国大 野口先生 | 13:55 - 14:25 |
| (4) 講演2 (30分) :
深層防護の実装(仮題)
講師: 山本先生(名古屋大) | 14:25 - 14:55 |
| 休憩 (15分) | |
| (5) 総合討論 (120分)
ー 深層防護に関する論点整理 (山本先生(名大)) の後、会場意見と合わせた議論ー
座長: 宮野先生 (法大)
コメンテーター: 山口先生 (東大)、山本先生 (名大)、野口先生(横国大)、梅澤委員 (MHI)、
飯倉委員(東芝) | 15:10 - 17:10 |
| (6) まとめ及び閉会の挨拶 (20分) : 山口先生 (東大) | 17:10 - 17:30 |

(注) 会場との質疑応答では、発言者は所属、氏名を必ずしも言う必要はありません。

以上